

令和 2 年 5 月 2 1 日

自由民主党・秋季入学検討WT 御中

全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
会長 山中ともえ

秋季入学・始業導入に関わる意見書

秋季入学導入について、政府でも検討が開始されているところであり、社会においても様々な見解が示されています。教育のグローバル化の観点からも、これまで秋季入学については議論のあったところですが、我が国が4月入学を実施してきた歴史的な背景とその成果や効果等の検証が明確ではなく、新型コロナウイルスの感染防止のための長期にわたる臨時休業との関連で取り上げられることに対して、危機感を持ちます。現在、各学校では、学習の遅れを取り戻す対応、異常事態に晒された児童生徒の心のケア、家庭や地域との新たな関係構築などの課題に取り組んでいます。また、新学習指導要領への対応や次年度に延期された東京オリンピック・パラリンピックへの取組も同時に並行して実施していかなければなりません。このように国家として大きな対応を迫られている時に、検討や準備に時間をかけなければならない秋季入学を進めていくことは、学校の混乱を一層招くことに他ならないと感じます。

秋季入学そのものについて、絶対的な根拠をもって反対するものではありません。しかし、単に諸外国の例に倣うのではなく、これまで実施してきた世界に誇れる日本型の学校教育について十分に検証していただき、課題を明確にし、ゴールまでの道のりをしっかりと示した後でなければ、秋季入学を進めていくことは不可能と思われると思います。特に、障害のある児童生徒については、学校の混乱が直接影響します。準備が整わない中での秋季入学への移行は、実施しながら修正していくようなものではありません。各界との議論を尽くし、社会全体での理解を進める必要があり、次年度から移行するには課題が大きすぎます。

本協会は、特別支援教育を必要としている児童生徒の教育の向上を活動の方針としており、その視点で考えられる課題を下記のとおり示しました。今後の検討にあたっては、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業とは切り離して議論していただくとともに、学校現場の声を反映していただくよう、お願い申し上げます。

記

(1) 検討すべき課題の大きさについて

学齢の考え方、年度変更による児童生徒数、教職員の人事、教員採用の時期、企業等の採用の時期、移行期間の経費等、時間をかけて検討すべき課題が多い。

(2) 特別支援教育に関する専門性をもった教員の配置について

秋季入学に伴って教員の増員が言われている。しかしながら、本協会の全国調査結果から、特別支援学級や通級指導教室を担う教員の経験年数が少なく、専門性も十分ではない教員が多数配置されることが明らかになっている。今以上に教員が増加することにより、特別支援教育の専門性の担保に大きな不安がある。

(3) 学びの連続性を図る教育機関について

障害のある児童生徒については、就学から卒後までを見通し、個々の教育ニーズに応じた学びの連続性を図る教育の充実に努めている。小中学校の義務教育段階に限らず、保育所・幼稚園、高等学校、大学さらには就労まで、児童生徒に関わる全ての関係機関が一斉に円滑な改革の実行ができないと実現は困難である。

(4) 社会全体の理解について

社会全体の仕組みを変えていくことになり、会計年度の考え方、4月からの就労等に伴う進路指導の在り方等も変更していく必要がある。

(5) 児童生徒及びその保護者への説明について

障害のある児童生徒は安定した学校生活を送ることが必要であり、学校と家庭が連携して成長を促している。秋季入学について納得する説明ができない。

(6) 東京オリンピック・パラリンピックへの取組と並行することについて

次年度に延長された東京オリンピック・パラリンピックについては、観戦や準備等、教育の一貫として各学校は取り組んでいる。開催のある8、9月に新たな制度に移行することは難しい。

(7) 4月入学の課題の明確化について

これまで日本の風土にあった4月入学が実施されてきたが、その課題の検証も十分ではなく、諸外国との関係以外の問題が明確に説明されていない。

(8) 夏季の長期休業の状態把握の困難さについて

長期休業中に年度が変わると、児童生徒の状態を把握することが難しくなる。特に、障害のある児童生徒は、長期休業中の状態の変化や見守り等、信頼関係を構築してきた教員が行えることは大きなメリットである。

(9) 学校の教育課程の変更等について

新学習指導要領の実施、教科における季節単元の再構成等、指導計画や学校行事予定の変更等行事の時期や授業計画等の大幅な見直しが必要であり、労力と時間を要する。法律の改正も間に合うのか疑問である。

(10) 他の学校制度の課題について

秋季入学以外にも、小中学校の6・3制の区切りや幼稚園や高等学校の義務化等の課題もある中、秋季入学を先行して検討していく是非が分かりにくい。

以上